



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第5週 (1/27~2/2)

三宅島 感染症の報告はありません。

御蔵島 感染症の報告はありません。

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 <東京都感染症週報 第4週>

- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、2.28で前週(2.32)から、ほぼ横ばいです。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、6.60で前週(10.28)から減少し警報基準を下回りました。
- ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、3.50で前週(2.89)から増加しています。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) <第5週 (1/27~2/2)>

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、0.55で前週(1.73)より減少しています。
 - ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、0.82で前週(1.18)より減少しています。
- 油断せず状況に合わせて、手洗い・咳エチケット・部屋の換気の基本的な感染対策を続けてください。

NEWS 2月4日は風疹の日！“風疹ゼロ”プロジェクト

● 日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本周産期新生児学会、日本小児科学会、日本小児科医会、国立感染症研究所からなる「風疹ゼロ」プロジェクト実行委員会」は、風しん排除を目的として、啓発活動を行っており、2017年から毎年2月4日を「風しんの日」と定め、2月を啓発強化月間としています。

● 風しんは、風しんウイルスによる急性の感染症です。「三日はしか」とも呼ばれ、春から初夏に多くみられます。2~3週間の潜伏期間の後、発熱、発疹、リンパ節の腫れといった症状がでます。風しんは基本的には重症化せず回復していく疾患ですが、関節炎、血小板減少性紫斑病、急性脳炎などの合併症を発症することもあり、注意が必要です。学童から思春期に多く発生がみられますが、近年は成人での発生も多く報告されています。

● 妊娠初期の女性が感染すると、先天性風しん症候群を起こすことが知られています。

● 主な感染経路は、「飛沫感染」で咳やくしゃみなどによって他の人にうつりますが、他に、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。風しんは麻しんと同様、区市町村が予防接種を実施しています。

(参考:風しんとは 東京都保健医療局)



(国立感染症研究所)

《編集・発行》 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX04994-2-1009

<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



風しんとは
(東京都保健医療局)



風しんについて
(厚生労働省)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

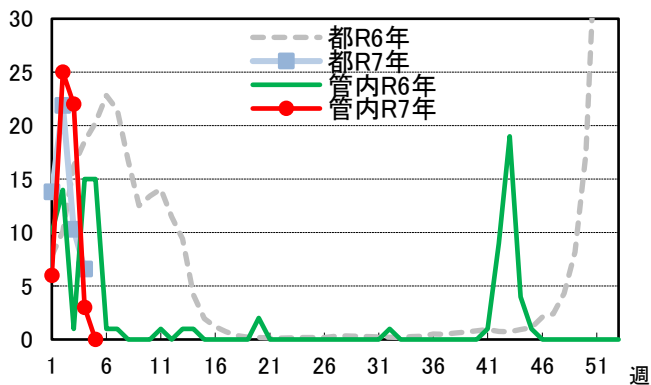
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ/ COVID-19定点)	令和7(2025)年				令和7(2025)年 累計	東京都 定点あたり 4週
	2週	3週	4週	5週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.61
咽頭結膜熱					0 (0)	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					0 (0)	2.32
感染性胃腸炎					0 (0)	7.97
水痘					0 (0)	0.35
手足口病					0 (0)	0.08
伝染性紅斑					0 (0)	2.28
突発性発しん					0 (0)	0.23
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.01
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.04
MCLS(川崎病)					0 (0)	0.03
不明発しん症					0 (0)	0.02
インフルエンザ	25 (1)	22 (2)	3 (0)		56 (3)	6.60
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			2 (2)		11 (2)	3.50

※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

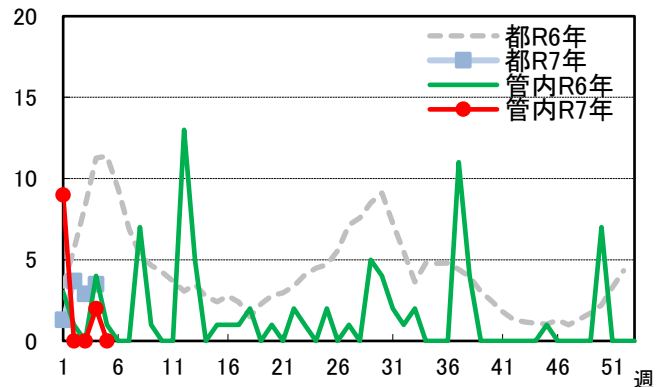
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

東京都のインフルエンザの定点あたりの報告数は、警報基準を下回りました。
報告数は減少していますが、感染陽性者がいなくなったわけではありません。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。